

相模

第501号
平成27年7月1日
寒川神社社報



SAGAMI



盛夏の御、氏子崇敬者の皆様方にはご壮健にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。
寒川神社社報「相模」をご愛読いただき誠に有り難く厚く御礼を申し上げます。皆様ご承知の通り小誌は五月号を以って、創刊五〇〇号を迎える事が出来得ました事は、関係各位のご協力の賜物と重ねて御礼を申し上げます。(ごまごま)とさせていただきます。



新社報発刊にあたり

宮司 利根康教



7/20 浜降祭



8/15 相模薪能



9/19 流籠馬神事



9/20 例祭



寒川大明神の御神託

益人の 正しき直き心を元として
天つ神のみ心になんかへ 直き心は天地に通じ
物として物ならずと云うことなし
草も木も直き心ぞ 世の宝として宝なり



さて、小誌は昭和四十四年三月にB5版八ページの体裁で創刊されたのであり時代を則して子細な変更を繰り返しながら五〇〇号に至ったものであります。

更には「(前略) 社報には学術的なものと、広報的なものとがあり、当社に於いては、広報を主眼としたものとしてゆく方針でありました(後略)」と記されております。



今後もこの創刊当時の「広報を主眼とする」との編集方針は継承し、祭典をはじめ神社行事のご案内やご報告を中心に構成してまいります。また、基本の紙面構成をA4版十二ページに拡大したことにより、写真資料なども多用出来ますので、視覚的にも判り易く表現できるように心がけます。加えて只今では、神苑内に「方徳資料館」が開館し、教学研究や資料収集を専門とする部署も新たに設置されておりますので、適宜その成果をご報告させて頂きながら編集に努めてまいります(後略)。

創刊号の巻頭言や当時の瀧本宮司様の挨拶を振り返りますと、「(前略) 社誌に明らかなように、わが寒川神社は、二千数百年の歴史を有し、相模国二之宮、総鎮守として皇室の御尊崇厚きは勿論、士民信仰の中心として今日に至っております。(中略) また、古来唯一の八方除の守護神として今日に至るまで輝かしい伝統を保っております事は、高く誇りとしているものであります。

今後は「(前略) 社報には学術的なものと、広報的なものとがあり、当社に於いては、広報を主眼としたものとしてゆく方針でありました(後略)」と記されております。

今後は「(前略) 社報には学術的なものと、広報的なものとがあり、当社に於いては、広報を主眼としたものとしてゆく方針でありました(後略)」と記されております。

創刊号の巻頭言や当時の瀧本宮司様の挨拶を振り返りますと、「(前略) 社誌に明らかなように、わが寒川神社は、二千数百年の歴史を有し、相模国二之宮、総鎮守として皇室の御尊崇厚きは勿論、士民信仰の中心として今日に至っております。(中略) また、古来唯一の八方除の守護神として今日に至るまで輝かしい伝統を保っております事は、高く誇りとしているものであります。

今後は「(前略) 社報には学術的なものと、広報的なものとがあり、当社に於いては、広報を主眼としたものとしてゆく方針でありました(後略)」と記されております。

今後は「(前略) 社報には学術的なものと、広報的なものとがあり、当社に於いては、広報を主眼としたものとしてゆく方針でありました(後略)」と記されております。



「祭事暦」

七月二十日	午前八時三十分 月次祭
七月十五日	午前八時三十分 浜降祭古式祭
七月十九日	午後八時 浜降祭宵宮祭
七月二十日	午前七時 浜降祭(於南湖浜)
七月二十日	午前十二時 虫送り祭
八月二十日	午前八時三十分 月次祭
八月九日	午前十時 終戦七十年平和祈願祭
八月十五日	午後十二時 平和祈願祭
九月十日	午後五時三十分 相模薪能
九月十九日	午前八時三十分 月次祭
九月十九日	午前十時 商工祈願祭
九月十九日	午後一時 献灯奉告祭
九月二十日	午後一時 例祭宵宮祭
九月二十日	午後一時 流籠馬神事
九月二十日	午後一時 例祭
九月二十九日	午後十時 末社御祖神社例祭
九月二十九日	午前十時 末社宮山神社例祭

「目次」

2	寒川大明神の御神託／祭事暦
3	新社報発刊にあたり／暑中見舞い
4-5	浜降祭のご案内
6	終戦70年諸行事のご案内
7	薪能のご案内／終戦70年諸行事のご案内
8	金華山黄金山神社宮司手記
9	国府祭斎行
10	靖国神社宮司参拝／社頭動静／病院だより
11	俳壇／詠草／参集殿広告／例祭のご案内
12	月次祭木札／人事／編集後記

暑中お見舞申し上げます

宗教法人寒川神社

【代表役員】	利根 康教
【責任役員】	入澤 一三 中島 啓介 前田 隆一 松本 学
【顧問】	伊藤 留治 小林 亮 山田 文夫 飯田 誠 根本 康明 山上 貞夫 藤田 善三 田中 賢三
【参与】	高橋 春吉 金子 昭 大川 静男 横溝 隆義 市川 元久
【総代長】	金子 武
【副総代長】	谷澤 正勝
【総代】	菊田 光隼 湯上 義人 宮川 里司 徳永 博克 古谷 進一 杉山 信一 金子 昌裕 金子 健治 室屋 辰美 鈴木 茂治 三枝 利行 原 宏治 金子 吉秋 高橋 正幸 杉本 孝幸

(敬称略)



暁の祭典 浜降祭

七月二十日（海の日）

寒川神社を始め寒川町・茅ヶ崎市に鎮座する
三十四社、三十九基の絢爛豪華な神輿が
七月二十日（海の日）の早朝、茅ヶ崎南湖の浜に集結し
十数万人もの観衆が見守る中、浜辺を勇壮華麗に乱舞しながら
海へ入り禊を行い、御神威新たな神を奉迎する
浜降祭が斎行されます。



すべての神輿が着御される午前七時、祭典が厳粛に斎行され
国家安泰、五穀豊穰、大漁満足が祈念されます。

『寒川神社 御神幸時間表』

午前	午後
二時三〇分	二時〇〇分
発輿祭	社頭還幸
引き続き 社頭発輿	
一之宮御通過	
三時四〇分	
田端（神輿を車輛に奉安）	
四時五〇分	
国道三四号線西浜交差点（昇輿）	
五時三〇分	
南湖浜祭場着御	
六時〇〇分	
浜降祭祭典斎行	
七時〇〇分	
祭典終了後 祭場発輿	
八時三〇分	
国道三四号線（神輿を車輛に奉安）	
九時一〇分	
田端行在所供饌祭	
九時四五分	
一之宮行在所供饌祭	
十時二〇分	
寒川駅前公園 東日本復興祈願祭	
十一時四〇分	
寒川神社御旅所祭	



富士山を背に海に入り禊する神輿



帰路、寒川駅前公園にて東日本復興祈願祭が執り行われ
神楽舞が奉奏されます。

『寒川神社

浜降祭供奉神社』

（順不同）

浜之郷	鶴嶺八幡社
岡田	菅谷神社
芹沢	腰掛神社
堤	八坂神社
倉見	倉見神社
一之宮	八幡大神
円蔵	神明大神
矢矧	本社宮
西久保	日吉神社
柳島	八幡宮
中島	日枝神社
今宿	松尾大神
萩園	三島大神
高田	熊野神社
甘沼	八幡大神
香川	諏訪神社
小和田	諏訪神社
室田	熊野神社
菱沼	八王子神社
下寺尾	八王子神社
上赤羽根	諏訪神社
下赤羽根	八雲大神
中海岸	神明大神
十間坂	中海岸神社
十間坂	第六天神社
新町	神明宮
本村	嚴島神社
中海岸	八坂神社
鳥井戸	八大龍王神
南湖上町	御霊神社
南湖中町	金刀比羅神社
茶屋町	八雲神社
南湖下町	茶屋町大神宮
	住吉神社

大東亜戦争 終戦七十年 平和祈念

本年終戦七十年を迎えるに当たり、寒川神社では、世界の恒久平和を祈り以前から終戦記念日に行ってまいりました「相模薪能」に加え、八月九日(日)から十五日(土)までを平和を祈る週間と定め、各種の平和祈願行事を実施致します。氏子崇敬者の皆様方にもご覧いただける催しもございますので、ご参拝、ご来場いただき平和への思いを新たにする機会にされてはいかがでしょうか。

平和祈願祭

八月九日(日)
午前十時齋行
於寒川神社本殿

引き
続き

「平和祈念式典」

於参集殿
町内十二ヶ寺との合同開催
※神社及び寺院関係者のみの参列とさせていただきます。
共催／寒川町仏教会

音魂

OTODAMA

コンサート

八月九日(日)

開場 午後五時 開演 五時三十分

於寒川町民センター

七月十一日(土)午前九時より社務所玄関にて

三〇〇枚の入場券を

先着順に無料配布致します。

※枚数に達し次第終了とさせていただきます。

※追加配布は行いません。

協力／寒川町

お一人様
二枚まで



プロフィール

伊藤多喜雄

TAKIO BAND

北海道苫小牧出身。「民謡界」の枠にとらわれず「民謡」の復活に向けて、独自に活動の場を切り開いてきた。坂田明、小室など様々なジャンルのミュージシャンとも共演し、積極的にライブ活動を展開。傍ら「唄さがしの旅」を重ね、生活に基づく唄を訪ね歩く。唄を通して、日本各地の町おこしにも関わり、日本中を駆け回る日々を送っている。1989年、2003年とNHK紅白歌合戦にも出場。「金八先生のソーラン節生みの親」としてもお馴染みです。



プロフィール

炎太鼓 ユニット

1986年に第一期炎太鼓を結成。当初から海外の舞台に進出し、99年にはフランスのパリやイギリスのロンドン、中国の上海など世界主要5都市を巡回したワールド・ツアーをおこなう。女性のみによる編成ながらダイナミックなフォーメーションを特徴とし、女流太鼓チームとしては特異な構成で注目を集めている。女性ならではのしなやかな表現と、北陸特有の伝統あるリズムの復活に努め、日々、研鑽を重ねる。

第四十六回

相模薪能のご案内

終戦記念日の八月十五日、先の大戦において尊い命を捧げられた英霊への慰霊と世界の恒久平和を祈り、相模薪能を開催致します。

本年は、花柳眞理子師他による長唄舞「島の千歳」も披露されますのでご覧頂きますよう、併せてご案内申し上げます。

〔演目〕

● 能 金札

● 狂言 観世 喜正ほか
簸屑 野村 萬斎ほか

● 能 海士

● 能 中森 貫太ほか

〔開催日〕

平成二十七年八月十五日(土)
午後五時半開演予定

〔場所〕

寒川神社境内特設能舞台

申込方法

鑑賞ご希望の方は**往復ハガキ**に住所・氏名・年齢・電話番号を楷書で明記のうえ、左記要項によりお申し込み下さい。

※七月一日以降の消印より有効。

それより前の消印や記入漏れがある場合は無効となりますのでご注意ください。先着千名(二人枚限り)とし、電話での申し込みは受けません。また入場者は中学生以上に限りませ

申込先 〒二五三〇一九五

神奈川県高座郡寒川町宮山三三九六
寒川神社相模薪能係

お問合せ 電話 〇四六七(七五)〇〇〇四

〔往信面〕

無地で
お申し込み下さい。

253-0195
寒川神社
相模薪能係

〔返信面〕

郵便番号
〇〇〇〇〇〇
住所
〇〇〇〇〇〇
氏名
〇〇〇〇〇〇
年齢
〇〇〇〇〇〇
性別
〇〇〇〇〇〇

※鑑賞券の転売は固く禁止致します。

「終戦七十年資料展」

寒川神社所蔵資料に加え、町内外の戦争関連資料を左記により展示致します。

終戦から七十年の歳月が過ぎ、徐々に人々の記憶の中から戦争が希薄になりつつあります。当時の資料に深く接することで、英霊を偲びつつ、いまだ「戦争」を見つめなおす機会として頂きたいと存じます。

〔日時〕平成二十七年八月八日(土)〜八月十六日(日)
午前九時〜午後八時半

〔場所〕寒川神社 客殿 一階

観覧自由



武運長久祈願祭



社務所前集合写真

『こども絵画展』

八月八日(土)〜十六日(日)



寒川神社少年館館生による、日本神話物語の絵画を参道灯籠に掲げ平和を祈ります。夜間は照明に絵画が浮かびあがります。期間中は午後十時迄御本殿はじめ境内がライトアップされます。



能「金札」



能「海士」

東日本大震災以来、寒川神社が独自で支援を続けてまいりました宮城県牡鹿半島沖鎮座、金華山黄金山神社の奥海宮司様より手記を頂戴いたしましたので、茲に掲載させて頂きます。
今後も黄金山神社の復興に御支援を賜りたくお願い申し上げます。

トリプルパンチを

凌いで復興へ



金華山黄金山神社宮司 奥海 聖



完成した鳥居

鳥となりましたが、四月に入つて職員を集めて鳥に入り、先ず残骸、瓦礫の片付け、清掃にかかりました。石燈籠などは石を積み重ねて接着剤でくっ付けているだけです。

修復完成しました。そして三年目には寒川神社OBである千葉市検見川神社の宮間宮司様の御厚志により、倒壊した石鳥居がみごとに再建され、境内もようやく形が整ってきた感があります。

バラバラでしたが、幸い本殿、拝殿などの古い神社建築物はしっかりしていましたので、何とかなるかと復興への希望を繋ぎました。加えて寒川神社様を始め各方面から御見舞を頂き、救済物資が届けられ、さらに復興支援ボランティアが入つて来るようになると希望は膨らみ、六月には交通も不便な中、寒川神社の利根宮司様に参拝頂き、大いに励まされました。

今年四年目にして棧橋高上げ工事も完了、境内は継続的なボランティアの助けを借りて石燈籠、手水舎などの修復に取り組みしております。残る大工事としては参道の整備修復がありますが、焦ることなく歩んでいきたいと思ひます。ここまで来られたのも偏に皆様方の篤い御好意と御助力、寒川神社様の継続的な御支援によるもので、めぐそくなる心を何度助けられたことでしょうか。紙面を借りまして厚く御礼申し上げます。次第です。



倒壊した鳥居

平成二十三年三月十一日、激震がやって来たのは、所用があつて出かけていた私が鳥に帰社してすぐの事でした。舞上がる花粉やら埃で濁つた空の下では石鳥居、燈籠、玉垣、石垣そして常夜燈が次々に崩壊、自然の猛威を目の当たりにしてまさに茫然自失、さらに大津波が襲来して海岸を、棧橋の施設を削り取つていきました。

客、職員に死傷者は無いことが分かり、安心しました。参拝客は船に乗ろうと棧橋に下がっていたのですが、津波の来る前に高台に駆け上がり、神社の大広間に避難、二泊して無事帰宅しました。震災後の調査で神社は高台に鎮座していることが多く、津波の被害を免れて、直後の避難所となつた例が多いと聞きましたが、肯けるものがあります。

ただその状態を聞きつけた、重機を扱う技術を持ったボランティアが本格的に参入してくれて、山のような泥土を片付け、参道も応急補修して通行可能にしてくれました。物資、資材の運搬が可能になったことは大きく、二年目には神輿渡御もでき、ボランティアで滞在している浴接の先生によって常夜燈、対も



倒壊した常夜燈



完成した常夜燈

国府祭 齋行

される

相模国の安泰と五穀豊穰を祈る



発興祭

国府祭は、寒川神社をはじめとする相模国五社が大磯町国府本郷の神揃山で行う神事と、総社六所神社を加え麓の大矢場で行う祭礼で構成される祭典です。

かつて国司が国内の無事安泰と五穀豊穰を祈り、国内の総社に祀る各社の御分霊に幣帛をお供えしていた儀礼が元になつており、現在は神奈川県無形民俗文化財に指定されています。本年も五月五日早朝、発興祭に続き御神輿は社頭を出発し道中沿道の方々に無病息災・厄除けの験として粽を頒布しつつ祭場である神揃山へ到着しました。そして相模国五社の神輿が着御の後、神揃山祭が執り行われました。



古式「座問答」

正午には、寒川神社と川勾神社の二之宮争いを儀式化したとされる古式「座問答」が執り行われ慣例に従い「いずれ明年まで」という三之宮比々多神社宮司の仲裁で神事が終了となりました。御神輿は神揃山発興祭ののち麓の大矢場へと下り、各社の御分霊が六所神社へ合せ祀られ一年の安泰を祈願する「神対面の儀」等の祭典が行われた後、寒川神社へと無事還幸致しました。

神対面の儀



神揃山へ向かう神輿



茅巻を授与



六所神社神迎の儀



『靖國神社宮司参拝』

五月十三日、靖國神社の徳川康久宮司様が当神社を正式参拝されました。
参拝後は利根宮司の案内により神嶽山神苑と方徳資料館を見学され、途中和楽亭にお立ち寄りになり、和やかなひと時をお過ごし頂きました。



『社頭動静』

- 五月三日 BSもちつき・バザー大会実施
- 五月五日 国府祭斎行
- 五月九日 全総代各種委員研修旅行実施
- 六月一日 寒川神社全総代会開催
- 六月三日 神道政治連盟結成四十五周年記念式典にて参与 横溝隆義様が表彰を受賞
- 六月七日 BS・GS発団奉告祭
- 六月八日 馬場北側樹木伐採清祓
- 六月十二日 社務所新館改築工事地鎮祭
- 六月十四日 BS田植え実施
- 六月二十二日 宮山神輿愛好会御田植祭
- 六月二十四日 浪速神楽講習会開催
- 六月三十日 水無月大祓式・茅の輪神事大祓祈願祭
- 毎月二日・二十日 月次祭

『寒川俳壇』

足で足洗う夕風田植すむ 金子 つち
目をみはる赤子の知恵やさくらんぼ 宮入 つる
心して股間多めに天瓜粉 芹澤 徳光
一村の鏡となりて田水張る 飛石 権花
余生なお気長に生きよ蝸牛 岩田美代子
紫陽花に色とりどりの傘の列 露木てる子
畦草を刈るエンジンの不整脈 菅沼 保幸
寺の名は知らずあちさい寺といふ 吉岡 徜徉
明早し久に聞きたる鶏の声 松村 信篤
若者はスマホに夢中冷房車 根岸 君子
つじつまの合わぬ夢みて明易し 菅沼うめの
天からの恵みの水や田を植える 倉谷 節子
質上げもポーナスもなし蟻の列 竹村真砂美
冷酒酌む枿は松の香りして 松本美智子
葉の色のみどりにふれる袋掛け 皆川志んご
鈴生りの房を重ねてミニトマト 天沼 子平
香水をまといし文や小雨降る 猿渡 弥生
山門の両側に咲く濃紫陽光 伊藤 公一
夏至近し高麗山に低き雲 四ッ車梢月
田植え終え水面に月を映しけり 三輪 恭子
種とばす寒川空にさくらんぼ 原野 楽天

神前結婚式 ご案内会

8月23日(日)午前10時～午後5時
レストラン青葉食事券付き

- 10:00 衣裳・美容体験
記念写真プレゼント
- 10:30 雅楽生演奏
- 11:00 挙式セミナー
- 11:20 奉告の儀
記念写真プレゼント
- 12:00 模擬挙式
- 12:40 模擬披露宴

◇各種相談コーナー（随時）
◇人力車試乗体験（随時）
※都合により催し内容が変更になる場合がございます。ご了承くださいませ。

夏祭り

8月13日(木) 雨天延期 14日(金)
午後4時～午後8時まで
参集殿第一駐車場にて開催
盆踊り／各種露店販売
◆盆踊り 5時・7時 2回

七五三 貸衣裳展示会

7月25日(土)～8月10日(月)
8月19日(水)～8月22日(土)
8月24日(月)～9月30日(水)
※8 / 11～18 お盆休み
※8 / 23 休み
開催時間
(平日)午前10時～午後4時まで
(土日・祝日)午前10時～午後5時まで
毎週火曜日定休日

ご予約・お問い合わせは
寒川神社参集殿
☎0467-75-5555

肛門外科

伊東医師よりご挨拶

宗教法人寒川神社寒川病院

肛門外科医長 伊東 功



今年4月1日
より寒川病院の肛門外科医長として
赴任となりました伊東功と申します。

東京都大田区出身で東海大学医学部を平成3年に卒業後東海大学医学部消化器外科に入局、長年東海大学医学部附属病院や附属東京病院、大磯病院にて消化器外科の仕事をさせて頂いておりました。現在も消化器外科講師として医局に所属しております。

専門は大腸肛門外科で平成21年より4年間横浜にある松島病院大腸肛門病センターに外向し主に大腸内視鏡や痔核、痔瘻、裂肛などの肛門疾患の診療に携わってまいりました。

肛門の三大疾病はいぼ痔(痔核)、切れ痔(裂肛)、穴痔(痔瘻)であり、その症状は出血や痛み、出っ張りなどで誰でも排便にともない一度は経験がある症状だと思われがちです。しかし、症状があってもお

しりをみせる恥ずかしさや何科を受診してよいか分からぬという理由でなかなか受診される機会が少ないのが実情ではないかと思われがちです。

肛門の疾患は良性的の疾患が多く、実際お薬による治療で改善されることも

多いのですが、手術を受けなくては治らない病気もあります。また、中には肛門以外の重篤な病気によって同様の症状が引き起こされていることもあり、早期に診断と治療が必要な場合があります。

排便時の出血がある場合、いぼ痔や切れ痔による事が多いですが、潰瘍性大腸炎やクローン病、大腸にポリープや癌が潜んでいる可能性もあり当院では診察結果で痔と診断された場合でも専門医による大腸内視鏡検査も積極的に勧めしております。

脱出を伴ういぼ痔の治療に関しては、以前は切取って取る手術が主流でしたが最近では脱出を伴う内痔核に対して「ジオン四段階注射療法」という切らずに局所の注射によつて治療する方法が広まってきておりますが全ての痔核が治療の対象となる訳ではありません。切れ痔は慢性化するのと排便時の痛みや出血だけでなく肛門が狭くなつてしまつたり見張りいぼや肛門ポリープ、痔瘻の原因にもなり薬物療法での治療はほとんど望めません。また痔瘻に関しては現在どころ手術療法以外治療法がなく長年放置しますと痔瘻の発生の可能性もでてまいります。しかし肛門疾患で手術が必要とされる患者様におかれましては社会的なバックグラウンドもそれぞれ違いますので患者様のニーズと病状にあつたべ

母の日に娘より贈らる手作りのキルトバックに思いのこもる
ゆくあてのあるかのごとく一瞬に桜花びら散る潔よさ
天女忘れし羽衣なるや芝桜みさとの里を染めあげて咲く
参道に若葉のしんめあさみどり生き生きおりなす緑のカーテン
四世代集いて祝う誕生日ますます元氣な姑百三歳
木の間より眼下に見ゆる村里が我が故郷はあのあたりかな
腹一ぱい大氣を孕み泳ぎいる曾孫の鯉のぼり見るに飽かなく
猫の九あちらこちらとパトロール終えてぐつすりひるねの姿
卯の花は小さき鐘の形してま白な花は風に鳴るなり
分け合いて心通わす笥料理笑顔の縁の広がるうれしさ
一歳の誕生日には掴まり立ち一升餅背にべそかく曾孫
孫チーム少年野球初優勝日やけの顔に活気あふれる
横浜より下る東海道線の車窓より見る萌え立つ若葉
柿若葉もゆる光を放ちおり風さわやかに肌にふれゆく
星の澄む空へさゆらぐ山桜しんとして真白花びら

『相模詠草』

川島恵美子
平澤まさえ
稲垣 武子
吉田 幸子
宮治友美枝
徳江 道子
宇田川時子
土屋トミ子
浜田 寿子
山口 幸子
山根喜美代
亀山 文子
安藤 慧
岡元 芳子
杉本 照世

『内科医師募集』

寒川病院は、地域に根差した医療を提供する上で、寒川に縁故のある内科医師を募集しております。

お知り合いにご興味がある医師がいらつしやいましたら、担当までご連絡を頂けますよう宜しくお願い致します。

担当 事務長 尾崎
電話 ○四六七(七五)六六八〇

例祭のご案内

九月十九日(土) 午後二時 宵宮祭
九月二十日(日) 午後二時 流鏑馬神事
午前十時 例祭

その他、十九日・二十日の両日に亘り神賑行事が行われます。詳細はホームページ又は、町内各所に掲示されるポスターにてご確認ください。



相模國 寒川神社例祭





祝祭日には国旗を掲げましょう



【題字】
神社本庁 総長 田中恆清

【表紙写真説明】
盛夏の青空に映える御社殿



編集
後記

今号からA4版また季刊での社報となります。心機二転、「今までとは違う形態を」と模索するにつれ、逆に四十六年の歴史と五百号の積み重ねを実感する、良い機会となりました。より見易く親しみ易い編集を心掛け勉強して参りますのでどうか宜しくお願い申し上げます。
(尚)



月 長

目を閉じ、心を落ち着かせ虫達の大合唱を聞いていると、験の奥に十五夜お月さん、芒涼風と、秋を感じる風情が思い浮かんで来ます。稔の秋はすぐそこにきています。



月 葉

「わっしょい」は、輪(和)を背負う(わせおい)が語源との説があります。皆の力が合わさってつの事を成し遂げる。祭りは参加者全員の総意によって成り立つものです。



月 文

生命の源である海には、ワタツミ(海神)がお住みになられています。ルールを守り、節度をもつて楽しみ、無事安全を祈りましょう。

『木
札』

月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です

『人
事』

◆新採用

【寒川病院】

看護師 片野 陽介
寒川病院勤務を命ずる
平成二十七年六月二日

◆退職

【参集殿】

岩清水弘子
願いに依り職を免ずる
平成二十七年六月三十日

【寒川病院】

看護師 浅井あゆみ
看護師 竹之内愛美
准看護師 願いに依り職を免ずる
平成二十七年六月三十日

【神恵苑】

介護福祉士 根本 恵太
願いに依り職を免ずる
平成二十七年六月三十日

【神恵苑】

介護職員 筒井 美穂
神恵苑勤務を命ずる
平成二十七年六月二日

介護職員 小野瀬裕美
神恵苑勤務を命ずる
平成二十七年七月二日

『訃
報』

藤沢 賢一 氏

寒川神社顧問(功労表彰受彰者)
六月十三日帰幽(享年九十二歳)
多年に亘り、神社発展に
御尽力を賜りました。
心からご冥福をお祈り申し上げます。

第五〇一号

平成二十七年七月二日

発行所…寒川神社社務所

〒二五三-〇一九五
神奈川県高座郡寒川町宮山三九一六
電話…代表〇四六七(七五)〇〇〇四
編集責任者…前島 正
印刷所…株式会社さんこうどう

http://www.samukawajinja.jp